

「世界一の九州をつくろう。」フォーラム 2017 in くまもと開催



麒麟ビール株式会社熊本支社では、かねてより「世界一の九州をつくろう。」をテーマに、熊本の食・旅・人の魅力や良さを内外に発信し、熊本を元気に盛り上げていく活動を行っています

2017年2月3日（ホテルニューオータニ熊本・2階「おしどりの間」）

営業活動を通じた支援

麒麟ビール株式会社熊本支社では、かねてより「世界一の九州をつくろう。」をテーマに、熊本の食・旅・人の魅力や良さを内外に発信し、熊本を元気に盛り上げていく活動を行っています。

その取り組みと併せて、昨年の平成28年熊本地震発生以降は、東日本大震災後にキリングroupが立ち上げた「復興応援 キリン絆プロジェクト」が掲げる「絆を育む」をテーマに被災された方々への支援にも取り組んでいます。

フォーラムは、こうした熊本支社およびグループ各社の取り組みを紹介すると共に、その活動の根幹にあるキリングroupのCSV活動に関する考え方などを広く知っていただくために、一般の皆様やマスコミ関係者ら約100名をお招きして開催しました。

当日は、第一部で麻生芳彦熊本支社長が、「世界一の九州をつくろう。」におけるグループ各社の取り組みと「復興応援 キリン絆プロジェクト」の取り組みについて説明しました。また、第二部では、麒麟株式会社執行役員 CSV 本部 CSV 推進部部長を務める林田昌也が、「キリングroupのCSV活動～社会との共有価値創造～」と題して講演を行いました。

また、フォーラム終了後は会場を移し、お集まりの皆様と熊本支社やグループ会社のスタッフとの親睦を図る懇親会を開き、日ごろのご愛飲やご支援への感謝の意を表しました。



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

コメント①

キリン株式会社執行役員 CSV本部 CSV推進部 部長 林田 昌也

CSV (Creating Shared Value) とは、企業として社会課題に取り組み、その課題の解決による社会的価値の創造と経済価値やブランド価値を両立させ、企業の成長を実現させようというものです。弊社では、2013年からこの考えを経営の基盤に置いて活動しています。ただ、社会課題といっても様々な分野があるので、中でも私たちの事業に近い「健康」「地域社会」「環境」の分野に重点的に取り組んでいます。例えば、昨年発売した「47 都道府県の一番搾り」などは、自分の住む地域に誇りを感じてもらうだけでなく、売上の一部を熊本地震の被災地支援へ寄付するなど、ビールを通じた社会貢献ができました。今後も熊本地震の復興支援を含め、様々な形で地域と、そこに暮らす人々に寄り添った CSV に取り組んでいきたいと思えます。



コメント②

メルシャン株式会社 八代工場 工場長 上田 渉

弊社では、今年から「世界一の九州をつくろう。」の取り組みに参加させてもらうことになりました。八代工場は操業約 80 年になり、これまで地元の皆様を支えられて酒づくりを続けていくことができました。そうした感謝の気持ちも、取り組みの中で地域や九州の方々に伝えていければと思います。昨年の熊本地震では、工場の被害こそ軽微だったものの、焼酎「白水」に使っている水の採取地である南阿蘇村が大きな被害を受け心が痛みましたが、地元の方々のご協力もあり、ゴールデンウィーク明けには採取と運搬を再開することができました。“ものづくり”に携わる者として、改めて地域との関わり大切さを感じた経験でした。今後も熊本の水にこだわった焼酎を通じて、全国の皆様に八代、南阿蘇、そして九州の素晴らしさを伝えていければと思います。



コメント③

キリンビバレッジ株式会社 九州地区本部 地区本部長 澤村 勝史

弊社では、昨年「世界一の九州をつくろう。」の取り組みに参加しています。今年は、「午後の紅茶 おいしい無糖」と九州の美味しいものの食べ合わせの提案に力を入れ取り組んでいます。九州各県は、土地柄も人柄もそれぞれに個性豊かですが、「食べ物が美味しい」「人が温かい」など共通点も多く、外に向かって発信する時に「九州はいいところ」だと胸を張って言える土壌があると思います。また昨年からCSVの一環として、「生茶」に付いているベルマークを熊本地震の復興支援に役立てていただくキャンペーンも実施していて、今年も3月から約2カ月間行う予定です。キャンペーン賞品として「生茶」に合う九州の和菓子と一緒に味わう「お茶会」を昨年は福岡開催のみでしたが、今年は熊本でも開催できないかと企画中で、様々な取り組みを通して新たな価値の提案をしたいと考えています。



コメント④

メルシャン株式会社 九州支社 支社長 前田 宏和

私たちは、南阿蘇村の白川水源の水を使用している焼酎「白水」を、「熊本の県産酒」との思いで作っています。熊本地震後は、一日も早く焼酎「白水」の製造、販売を再開させ、少しでも多くのお客様のお手元にお届けしたいとの思いでした。お陰様で販売再開後は、全国でご好評をいただきました。特に米を原料とした球磨焼酎がある地元・熊本で「香りが華やか」「味がまろやか」との声が多く、熊本での「白水」の売上は東京、大阪に次ぎ、全国で3番目でした。また、「白水」の売上の一部を熊本地震の復興支援のために寄付させていただくこともできました。今後は、「世界一の九州をつくろう。」の取り組みを通して、より多くの九州のお客様とのタッチポイント（接点）ができればと考えています。私の夢は、熊本をはじめとする九州エリアでの白水の売上が最大市場である首都圏を抜き、地元で最も愛されている焼酎のひとつとなることです。



コメント⑤

キリンビール株式会社 九州統括本部長 松浦 泰彦

2012年から始まった「世界一の九州をつくろう。」の取り組みですが、キリングroupでは、それ以前から地域密着、地域の活性化に力を注いできました。そうした活動に特にこだわってきた九州で一つの形になったのが、「世界一の九州をつくろう。」という言葉だと思います。その取り組みを広く知っていただくために、九州各県のTBS系列局で「世界一の九州がはじまる！」という番組を放送していますが、こうしたエリア限定の取り組みもグループ内では珍しいことです。こうした地域に寄り添った活動が、グループが掲げるCSVそのもののだと言えます。また、「世界一の九州をつくろう。」の取り組みを通じて目指す、「九州を元気に」との思いは、自然と今後の熊本地震の復興支援にもつながっていくと思ひますし、それが私たちの存在意義ではないでしょうか。



コメント⑥

キリンビール株式会社 九州統括本部 熊本支社長 麻生 芳彦

ビールや飲料を通じて、「九州にしかないもの」「九州でしか作れないもの」を、地元の皆様と分かち合いながら全国に発信していく「世界一の九州をつくろう。」の取り組みも、今年7年目を迎えました。活動を通して、熊本や九州の人々の元気、地域の活性化に貢献できればとの思いで続けています。私自身も大分、熊本と九州でも勤務を経験していますが、各県それぞれの特長や魅力にあふれ、何より地域の方々が地元へ愛着と誇りを持っているのが素晴らしいと思ひます。また、昨年発生した熊本地震に対しては、今後「復旧から復興へ」「ハードからソフトへ」「モノからヒトへ」と支援のあり方も変化していく中で、キリングroupとしても「復興応援 キリン絆プロジェクト」を通じて、熊本で頑張っている人や組織の方々と一緒に、「創造的復興」に向けた様々な取り組みに参画できればと考えています。



コメント⑦

キャサリン's BAR 代表取締役 藤本 清美 様

「世界の九州をつくろう。」のような地域密着の企業活動は、とても素晴らしいと思います。私も昨年、「一番搾り 熊本づくり」の商品開発に関わらせていただき、まるで“わが子”のように思い入れを感じました。それだけにお客様にも自信を持っておすすめしますし、何よりビールを飲むことで熊本地震への寄付につながるという、誰もが取り組みやすい仕組みが、多くのお客様の共感を得ることができました。

※「一番搾り 熊本づくり」は福岡工場での製造ですが、熊本のお客様と共に熊本ならではの味わいをつくりあげたため、「熊本づくり」としています。



コメント⑧

一般財団法人 熊本県サッカー協会 名誉会長 井 薫 様

キリングroup様には、長年、サッカー日本代表のオフィシャルパートナーとして支援していただき大変感謝しています。日本サッカー協会も「世界一を目指す」と掲げていますが、その意味で「世界の九州をつくろう。」の取り組みには共感を覚えます。また、CSVの取り組みを通じた環境や健康への配慮、地域社会への貢献にも見習うべき点が多いと感じました。熊本地震の復興支援では、「JFA ころのプロジェクト『夢の教室』 in 熊本 presented by KIRIN」などで協働させていただいていますが、今後も被災地のために一緒に取り組んでいければと思います。



コメント⑨

熊本市経済観光局 文化・スポーツ部長 田上 聖子 様

昨年から続いている「47都道府県が一番搾り」など、キリングループ様の「みんなで作る」「地域と共に作る」という姿勢が素晴らしいと思います。また、CSVを通じて社会貢献に取り組んでいることも、企業としての意識の高さを感じます。熊本地震は、行政だけではとても対応できないほど被害が甚大でしたが、そうした時にキリングループ様によるさまざまな支援の申し出は、とても有難く心強かったです。



コメント⑩

一般財団法人 熊本国際コンベンション協会 専務理事 片岡 隆一 様

熊本は「火の国」と称されますが、実は「水の国」で日本一の地下水都市です。その水を使ってできた食材や食も日本一だと自負しています。熊本だけでなく九州各県も高いポテンシャルを秘めているので、キリングループ様の「世界一の九州をつくろう。」の取り組みによって、その魅力が国内外に発信されることに期待しています。また、熊本のシンボルである熊本城の修復に多大な寄付をいただいていることにも感謝申し上げます。

